

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I

つみ
罪けがれ払ひ清めばおのづから
よ
生くるかひある世とは思はむ

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

灰釉茶盃

「神都」

〔元屋敷土、みろく村白釉〕

絶えず真剣な努力を

祭務課主任 神宮幸太郎

〇〇ロスが出るほど惜しまれながら終了した、NHK朝の連続テレビ小説「おかえりモネ」。

主人公が自然豊かな島で暮らすところから始まり、大学受験にことごとく失敗。将来を模索する中「自分も未来を知りたい」と、一念発起。気象予報士の資格を取るため勉強し、挫折そうになりながらも、地元の人や仲間、家族に支えられながら成長していく物語です。

さて、東光苑では毎年「祭式講習会」を開催しています。ある講習会で、足の少し不自由な方が参加されました。正座や膝進膝退の動作は難しいですが、何倍も努力される姿を拝見しました。試験前夜、「少し付き合ってくださいませんか」と言われました。少し不自由でありながらも努力を惜しまず挫けることなく、何回も何回も稽古をされていました。お帰り際には「また参加したいです」と、おっしゃってくださいました。この方の姿勢に学ぶことも多く、ご指導させていただく際には、懇切丁寧に、そして自分自身も努力をしなければと、あらためて考えさせられました。どの分野でも指導する立場にある方は、講習会等に参加される方や、部下、後輩たち以上に日頃から努力しなければならぬと思いました。

出口日出磨先生「生活七訓」の一つに「絶えず真剣な努力をなさること」と示されています。それぞれの立場はあっても、お互い切磋琢磨しながらより良いものを作り上げていきたいですね。

来年は開教130年。東光苑では「祭式講習会」「葬祭研修会」など開催させていただく予定です。日帰りなどの対策はあるかと思いますが、奮ってご参加ください。お待ちしております。

「若き日に汗と膏をしばらくは筋骨弱く生命みじかし」

(聖師さま)

「自分だけを見ずに、広く世間を見ていたまえ。いろいろなことがあろうよ」

(尊師さま)



秋季大祭を執行

東光苑秋季大祭・新穀感謝祭・七五三詣りは、11月14日午前10時30分から、齋主・出口眞人氏のもと執行された。

当日はコロナの感染状況が落ち着いていることもあり、参拝者を受け入れて執行し、200人が参拝した~~II~~写真左。

祭員は各主会の祭務部長が、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読は中島浩山梨主会長が、東光庵では添釜が開かれ高野社中が担当した。

祭典では信徒有志からの五穀や野菜の献納品もお供えされ、お下がりとして参拝者に下附された。

祭典後、七五三詣りのお子さんに橋本伸作東京宣教センター長から千歳飴が贈られた。引き続き橋本センター長があいさつ。

引き続き齋主の出口眞人氏があいさつを行った。

なお、1階ロビーでは、マイ箸推進のため、マイ箸、箸袋の青松会バザーが催された。



家庭平安祈願祭を執行

家庭平安祈願祭（第30回）は、10月23日午前10時30分から、齋主・加藤道明祭務課長のもと執行され、40人が参拝した。

祭典では、齋主と祭員が全国から申し込みされた474件の氏名を全て読み上げ、家庭の平安と繁栄を祈念。



祭典後、東京本部を代表して、橋本伸作東京宣教センター長があいさつした。

なお全国から申し込みされた家庭平安祈願は祭典後1週間、東光苑ご神前で継続された。

東光苑オンライン講座

1月19日（水）19：00～

千年のちの世まで ～長生殿建設に込められた願い～

講師：橋本伸作（大本東京宣教センター長）



今世紀最大の木造建築と評される長生殿は、出口王仁三郎聖師が神からの宣示を受け、大本の開教以来、最も重要な神業として造営され、出口直日大本三代教主が「このたびのご用こそ、三千世界の立直しのご用でございます。」と示された建物です。建設の発表から完成までの道のりは長く、苦難の連続でした。

平成4年、大本開教100年の完成から30年を経て、長生殿に込められた神のご意思、先人たちの願いを今、考えます。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

東光苑オンライン講座、配信日変更のお知らせ

令和4年1月～

毎月19日に配信！！

1月 東光苑祭典・行事予定

1日（金）午前7時～
新年祭・年賀交換

1日～3日（金～日）午前9時30分～
年賀

9日（日）午前10時30分～
東光苑月次祭・成人式式典・合格祈願祭

19日（水）午前10時30分～
聖師毎年祭（74年）

19日（水）午後7時～
東光苑オンライン講座（配信）

講師 橋本伸作（大本東京宣教センター長）
～長生殿建設に込められた願い～

※コロナの感染状況に伴い、行事の延期や中止、祭典の参拝をご遠慮いただくと、予定を変更する可能性があります。

出口紅作陶展

みろくの春

感想・アンケート紹介

○茶盤の土や釉薬の材料の選び方に大変興味をもちました。

（一般・男性）

○好きな作品が沢山ありました。このお茶盤でお茶をいただきたいと思いました。

（一般・女性）

○一つひとつの作品が生きているように、一つひとつ違う見え方で魅了されました。拝見することで悩みも吹き飛ば気がしました。

（信徒・男性）

○お茶盤は同じ方が作られたとは思えない個性豊かで面白かったです。

（信徒・女性）



東光苑月次祭の参拝について

東光苑月次祭では、コロナの感染状況が落ち着いておりますので参拝可といたします。ただし、状況によっては変更する場合がありますのでご了承承願いたします。

なお、祭典の様子は、大本東京本部の信徒専用ページからライブ配信いたします。また、通常のご参拝は可能です。

大本東京宣教センター